

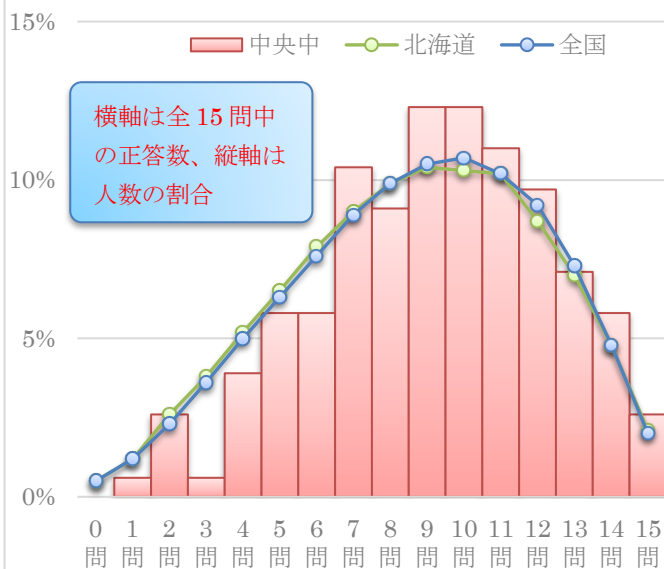
# 中央中だより

江別市立中央中学校

電話 011-385-5581 <http://www.ebetsu-city.ed.jp/tyuo->

本年4月に3年生で実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。すでに、3年生の個人の結果につきましては、生徒を通じてご家庭にお配りしています。本校では調査結果を踏まえ、今後も生徒の学力向上に向けた教育計画や授業改善に取り組みます。保護者の皆さまには、3年生に限らず、各家庭においても家庭学習の一層の充実や生活リズムの安定に向け、ご指導いただきますようお願いいたします。

## 国語 全国の平均正答率と比較して「やや上回っている」結果でした。



〈平均正答率〉

全道比	全国比
上回っている	やや上回っている

〈内容別の正答率(%)〉

区分	区分	全国比
知識及び技能	言葉の特徴や使い方	上回っている
	情報の扱い方	やや上回っている
	我が国の言語文化	上回っている
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	やや上回っている
	書くこと	上回っている
	読むこと	やや上回っている

### 〈全国と比べて正答率の高い問い〉

#### 書くこと 〈思考・判断・表現〉

◎③一 物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択する。

正答率 86.4%

#### 言葉の特徴や使い方に関する事項 〈知識・技能〉

◎④一 短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する。

正答率 67.5%

#### 我が国の言語文化に関する事項 〈知識・技能〉

◎④三 行事の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する。

正答率 85.1%

### 〈全国と比べて正答率の低い問い〉

#### 情報の扱い方に関する事項 〈知識・技能〉

●①三 話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する。

正答率 42.9%

#### 読むこと 〈思考・判断・表現〉

●②三 本文中に示されている二つの例の役割をまとめた文の空欄に入る言葉として適切なものを選択する。

正答率 61.0%

#### 言葉の特徴や使い方に関する事項 〈知識・技能〉

●③三 漢字を書く(みちたりた)

正答率 64.3%

③ 佐藤さんは、国語の時間に、「体験をもとに、身近なものを登場人物にした物語を書く」という学習に取り組んでいます。次は、佐藤さんが構想をまとめた「フートの一部」と「物語の下書き」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。(「フートの一部」及び「物語の下書き」の①から④は、場面の番号を表します)

フートの一部

〔登場人物の設定〕

- ・「僕」……紙の辞書。語り手。
- ・「君」……紙の辞書の持ち主(中学生)。

〔もとにする体験〕

- ・小学生のとき、紙の辞書を親に買ってもらった。
- ・使い始めた頃、紙の辞書の引き方が難しくて困った。
- ・最近はおオンライン辞書ばかり使っている。
- ・紙の辞書を久しぶりに使った。

〔物語を通して伝えたいこと〕

紙の辞書を久しぶりに使って気付いたよさ。

〔物語の下書き〕

① あの日も僕は、君の部屋の本棚の隅でじっと待っていた。ほこりだらけになりながら、中学生になってから、君はオンライン辞書を使うようになった。以前はよく、印を付けたら、書き込みをしたりしてくれていた。君との距離は、ずいぶん遠くなってしまった。

② インターネットだと、複数の辞書にアクセスできるから、タブレット端末だけを持ち運べばよい。単語さえ入力すれば、すぐに知りたいことを教えてくれるし、かさばらないし。君にとっては、とても便利なのだろう。僕なんて、このまま忘れられてしまうのかな。

③ そう考えていたとき、君は僕を手を取った。学校にタブレットを置いてきたのだろうか。久しぶりだったから、僕はびっくりし、君はほこりで大きくしゃみをした。ほこりだらけの僕に顔をしかめたけれど、何度もページを繰っては、いろいろな言葉の意味を調べていた。当然、いつもよりは時間がかかっている。調べなければならぬ言葉だけでなく、近くにある言葉にも目を引き、意味を確認する君。意味調べが終わっても、君は僕をいつもの場所に戻さなかった。しばらくページを繰り、小学生のときに印を付けた言葉や書き込んだ言葉を読み返していた。君はみちたりの表情をしていた。僕は自分が認められたような気がした。

④ あの日から数日が過ぎた。

全国を上回っており、正答率が高い問い

- (一) 佐藤さんは「フートの一部」の(もとにする体験)に書いた情報の中から、「最近はおオンライン辞書ばかり使っている。」と「紙の辞書を久しぶりに使った。」を取り上げることになりました。その意図として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 1 物語の読み手に、紙の辞書を初めて手にしたときの気持ちの方がより明確に伝わるようにするため。
  - 2 物語の読み手に、紙の辞書よりもオンライン辞書の方がよいことがより明確に伝わるようにするため。
  - 3 物語の読み手に、紙の辞書を久しぶりに使って気付いたよさがより明確に伝わるようにするため。
  - 4 物語の読み手に、紙の辞書の引き方が難しく困った

正答 [3]

正答率が低い問い

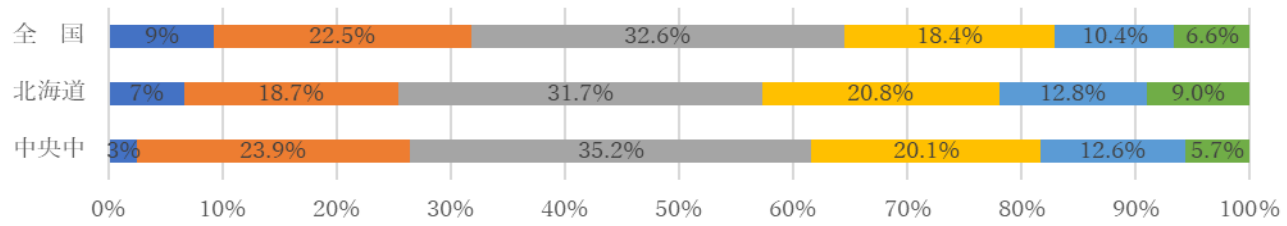
(三) 「みちたりの」の下線部のひらがなを漢字に直し、楷書でいねいに書きなさい。

正答 「満ち足りた」

生徒質問紙調査 家庭学習に対する意欲や取り組み方に課題が見られます。

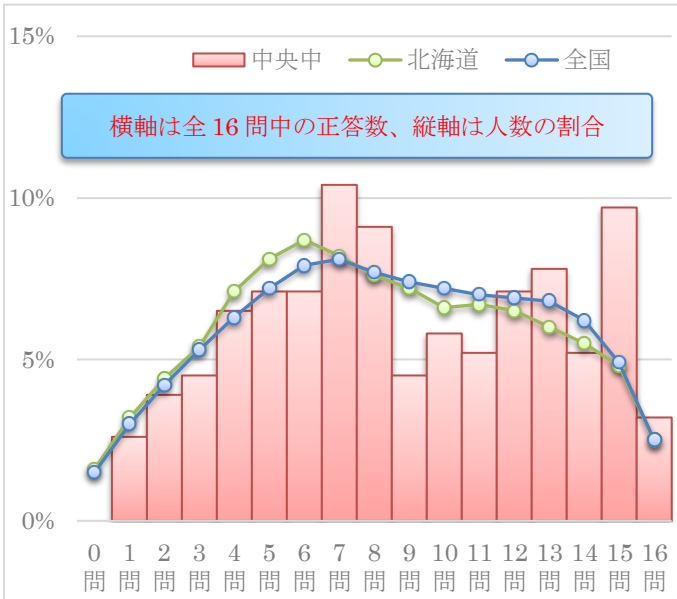
昨年度の生徒質問紙調査からも課題が見られた項目でしたが、今年度も課題が見られました。1時間未満の学習時間の生徒が38.4%、30分以下の生徒も18.3%という状況であり、家庭学習が十分に身に付いていない(主体的に家庭学習に取り組んでいない)生徒が大変多い状況、また、家庭学習では、主体的に計画的に学習できていない実態も見られます。

授業時間以外に普段(平日)1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか



調査結果から47.8%の生徒が平日に2時間以上、SNS利用や動画視聴をしている結果も明らかになっています。帰宅後の生活習慣の改善が必要な状況です。ご家庭においても、進路や未来を見据えて、毎日の生活習慣・学習習慣について、ご家庭で話し合い、あらためてご指導いただきますようお願いいたします。

**数学** 全国の平均正答率と比較して「上回っている」結果でした。



〈平均正答率〉

全道比	全国比
上回っている	上回っている

〈内容別の正答率〉

区分	区分	全国比
学習指導要領の領域	数と式	やや上回っている
	図形	上回っている
	関数	上回っている
	データの活用	やや上回っている

〈全国と比べて正答率の高い問い〉

数と式 〈知識・技能〉

- ◎③ nを整数とすると、連続する二つの偶数を、それぞれnを用いた式で表す。  
正答率 44.2%

データの活用 〈思考・判断・表現〉

- ◎⑦ (2) 車型ロボットについて、「速さが段階1から5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向がある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する。  
正答率 33.8%

図形 〈知識・技能〉

- ◎⑨ (2) 点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の大きさについていえることの説明として正しいものを選ぶ  
正答率 37.0%

〈全国と比べて正答率の低い問い〉

データの活用 〈知識・技能〉

- ⑤ 2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも裏が出る確率を求める。  
正答率 67.5%

数と式 〈思考・判断・表現〉

- ⑥ (2) 正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、□に入る整数の輪が○に入れた整数の和の2倍になることの説明を完成する。  
正答率 31.2%

データの活用 〈知識・技能〉

- ⑦ (3) 車型ロボットについて、障害物からの距離の設定を変えて調べたデータの分布から、四分位範囲について読み取れることとして正しいものを選ぶ。  
正答率 47.4%

全国を下回っており、正答率が低い問い

- ⑤ 2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも裏が出る確率を求めなさい。ただし、硬貨の表と裏の出方は、同様に確からしいものとします。

正答 1/4

2枚の10円硬貨を同時に投げたときの硬貨の表と裏の出方の起こり得るすべての場合は4通りで、2枚とも裏の出る出方は1通りであることから、確率を求めることができる。



## 数学⑨ 筋道を立てて証明し、図形を考察すること (2つの正三角形)

⑨ 線分ABがあります。線分AB上に点Cをとり、AC、CBをそれぞれ1辺とする正三角形PAC、QCBを、線分ABについて同じ側につくります。そして、点Aと点Q、点Bと点Pを結びます。ただし、点Cは点A、Bと重ならないものとします。

桃子さんは次の図1のように点Cをとり、健太さんは次の図2のように線分ABの中点に点Cをとりました。

図1

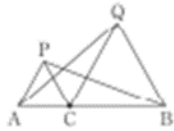
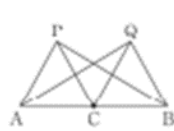


図2



二人は図1と図2を観察し、線分や角についていえることがないか気になりました。そこで、コンピュータを使って点Cを動かしながら調べました。

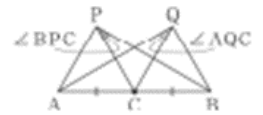


上の①、②のそれぞれに当てはまるものを、下のアからエまでの中から1つずつ選びなさい。

- ア 60°より大きい
- イ 60°より小さい
- ウ 60°になる
- エ 60°より大きいことも小さいこともある

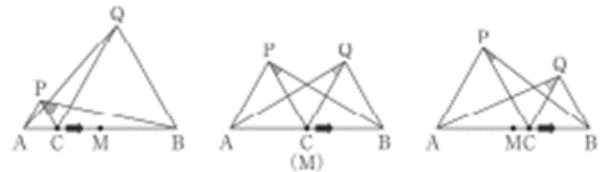
全国を上回っており、正答率が高い問い

(2) 健太さんは、線分ABの中点に点Cをとった場合に $\angle AQC$ と $\angle BPC$ が等しく見えたことから、他の場合にはどうなるか気になりました。



そこで、次の図3のように、線分ABの中点をMとして、点Aから点Bの方向へ点Cを動かした場合に $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の大きさがどうなるかを調べ、下のようにとりました。

図3



調べたこと

- 点Cが点Aから点Bに近づくにつれて、 $\angle AQC$ は大きくなり、 $\angle BPC$ は小さくなる。
- 点Cが線分ABの中点のとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ は等しく、どちらも30°である。

健太さんは、前ページの調べたことから、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和について何かいえることがないか考えています。

このとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和について、次のことがいえます。

- 点Cが点Aと中点Mの間にあるとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和は ①。
- 点Cが中点Mと点Bの間にあるとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和は ②。

正答例

① . . . ウ ② . . . ウ

### 中央中学校の取組

本校では、全国学力・学習状況調査やNRT標準学力検査の結果、7月に実施した教職員の中間反省・生徒アンケートをもとに「学校改善プラン」を策定し、生徒の学習や生活、授業の改善に向け、組織的・計画的に取組を進めます。本校生徒は部活動や放課後活動に熱心に取り組む、基礎・基本についてはおおむね定着している生徒が多いものの、身に付けたい資質・能力が不十分な生徒も少なくない状況にあります。

- ① 小中一貫教育の取組を進め、系統的な指導・一貫した指導・相乗的、補完的な指導に努めます。学習規律スタンダードや教科系統表を用い、校区内で連携し「基礎・基本の確実な習得」に努めます。
- ② 習熟度別少数指導(数学)、チャレンジテスト等を有効に活用し、学習指導の改善に努めます。また、個別最適な学びの充実に向けて、ICTの効果的な活用を前提とした更なる授業改善に取り組めます。
- ③ 本年度導入されたAIドリルを活用し、家庭学習支援の充実を努めます。また、学習者用コンピュータの活用や記録化されたデータをもとにした教育相談の実施など学習・生活習慣の改善を進めていきます。

部活動や放課後活動に熱心に取り組んでいる本校生徒ですが、引き続き「文武両道」を目指し、各種取組を推進させて参りますので、ご家庭でのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。